

【学校教育目標】

「きよらの郷を愛し、夢を実現し未来を創る南中生の育成」
 ～4Cを育む「みんなが楽しい学校をみんなで創る学校」の創造を通して～

重点的に育成を目指す資質・能力（4C）

Communication 伝える力 Collaboration 協働 Creativity 創造性 Critical Thinking 批判的思考

- 予測困難な時代を、主体的に、自らのよさや可能性を発揮し、多様な人々と協働しながら豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の作り手となる必要
- 学習指導要領の確実な実施 「熊本の学び」の推進 「きよら授業の改善」「きよら学の推進」

目指す生徒像

- ～校訓（自主・礼節・健康）を胸に夢を実現し未来を創る生徒に～
- かしこい生徒（自主）
学びを楽しみ、自ら考え、自ら学び、挑戦する生徒
 - やさしい生徒（礼節）
他者と協働でき、思いやりがあり、感謝の心を持つ生徒
 - たくましい生徒（健康）
自他を大切にし、最後までやり抜く、強い意志を持つ生徒

目指す教職員像

- ～教職員としての矜持をもち、協働し学び続ける教職員に～
- 様々な変化にも前向きに取り組み、教職生涯を通じて学び続ける教職員
 - 一人一人に寄り添い支援する、豊かな人権感覚と教育的愛情を持った教職員
 - 生徒・保護者・地域から信頼され、それぞれの強みを生かしチームで対応する教職員

目指す学校像

- ◎ 信頼される安心・安全な学校づくりを基盤に、◎ 教育の成果を生徒の姿・変容で示す。
- 「不祥事0」の学校 命を大切に作る学校 生徒の姿・職員の姿で勝負する学校
- 「働き方改革」に取り組む学校 日々の授業で勝負する学校 挑戦を続ける学校

本年度の重点取組目標－共有・充実・徹底・実現－

- 1 すべての生徒の命と笑顔が守られ、「居場所」がある学級・学校・仲間づくりの推進
 - 2 課題に主体的に向かい学びを深める、子どもを主語とする「授業改善」の推進
 - 3 「検証改善サイクルの確立」による教育活動の質の向上と五者による協働の推進
- 地教委連指定学力向上地域指定研究発表会 学校運営協議会設置・CSとしてのスタート

- 教育課程の構造が、「授業を核」としながら、その全体を通して4Cを育むものになっているか常に問う
- 様々な教育活動が4Cを育むものになるよう明確な意図をもって教育活動を工夫し、創造する

本年度の努力目標及び具体的努力点

豊かな心の育成

- ・ 特別の教科道徳の充実
- ・ 生徒会、体験活動の充実
- ・ 人権教育の推進
- ・ 読書活動の推進

確かな学力の育成

- ・ 校内研修内容の重点化
- ・ ICTの効果的活用
- ・ 特別支援教育の充実
- ・ 南中心得と家庭学習の充実

健康教育の推進

- ・ 体力づくりの推進
- ・ 望ましい食生活の推進
- ・ 保健指導の充実
- ・ 安全・防災教育の充実

地域とともにある

学校づくり

- ・ 五者連携の充実
- ・ 環境整備の推進
- ・ 基本的生活習慣の育成
- ・ 幼保等、小・中・高連携

信頼される

学校づくり

- ・ 不祥事防止の取組による不祥事根絶
- ・ 働き方改革の推進

経営を支えるシステム

きよらの郷の教育（きよら授業・きよら学）
 生徒会（スローガン「つながる～新時代の南中へ～」）
 無言掃除・南中心得（準備・反応・話す・聴く）・南中ノート・基礎学
 各委員会（企画会・学年会・特別支援・生徒指導（不登校、いじめ対策）・校内研究・人権教育）

経営の基盤

素直な生徒・協力的な地域、保護者・手厚い行政等の支援が本校の強み
 南小国町役場・南小国町教育委員会・保護者・後援会・南小国町PTA連絡協議会・町社協
 ・学校運営協議会・学校応援団・地域学校協働活動・きよらパトロール隊